国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所発行（No.148）

Mini-WAN

三河港湾事務所だより

２０１９年１１月号

米国沿岸警備隊による『国際港湾保安プログラム』が実施されました

令和元年10月7日（月）～9日（水）の間、米国沿岸警備隊により、改正SOLAS 条約（SOLAS：safty of life at seaの略、海上における人命の安全のための国際条約）に基づく我が国の港湾保安対策の取り組み状況について現地調査を行う「国際港湾保安プログラム」が実施されました。

「国際港湾保安プログラム」とは、米国において平成14 年（2002）に成立した米国海事保安法に基づいて行われるもので、米国が、米国と海上交易のあるすべての国の港湾を調査するものです。

初日は、国土交通省において、両国における保安対策の実施状況について意見交換を行いました。
2日目は三河港、3日目は名古屋港において、完成自動車やコンテナ等を取り扱っている公共及び民間の国際埠頭施設の現地調査が行われました。

先方からは、「日本の港湾保安対策は世界的にも高いレベルが保たれている。特に、ターミナルへの出入管理やカメラやセンサーを用いた監視体制など、日本の高度な保安対策は他の地域においても非常に参考になる取組である」とのコメントがありました。

※詳細は、下記国土交通省港湾局の報道発表資料をご覧ください。

URL: http://www.mlit.go.jp/report/press/port07_hh_000126.html

高田港湾局長表敬訪問

トヨタ自動車（株）との
意見交換の様子（三河港）

牟呂市民館にて市民講座を行いました

10月2日（水）～23日（水）にかけて、市民講座「船に乗って港を海から見学！三河湾、その産業と防災」を行いました。本講座は、豊橋市が開催している市民講座のうち、市政110周年記念事業として始まった「知っトク！ゼミナール」という、豊橋市の魅力を再発見することを目的とした講座のひとつです。

講座は20名の希望者を対象に計3回開催され、1回目は当事務所所有の港湾業務艇にて三河湾内を洋上見学、2回目、3回目は座学にて、それぞれ産業と防災について講義をしました。
参加者からは、「改めて三河湾は広いと感じた」、「台風19号の後に防災の話が聞けてためになった」、という声がありました。

今後も市民の方が三河湾について学ぶ機会に協力していきます。

座学の様子

地元の遺構（護岸観音等）
もご紹介しました

三河港湾事務所ホームページ　http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp
三河港湾事務所公式Facebookページ
https://www.facebook.com/mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/

みかわこうわん
三河港湾　検索

国土交通省　中部地方整備局
三河港湾事務所
公式Facebookページ

「第6回三河湾大感謝祭」に出展しました

10月20日（日）に、愛知県碧南市大浜漁港で「第6回三河湾大感謝祭」が開催されました。

このイベントは、多くの方々に里海である三河湾について関心を持ってもらうことを目的に、「三河湾環境再生プロジェクト」の一環として、毎年開催されています。当日は大浜てらまちウォーキングが同時開催されたこともあり、約9,000人に会場へと足を運んで頂き、大盛況となりました。

大村知事による
主催者挨拶

開催市である
禰冝田碧南市長の挨拶

当事務所のブースの様子

eyeQカルタで楽しく勝負

当事務所のブースでは、三河湾環境再生の取り組みである、三河湾シーブルー事業などについてパネル等による紹介を行いました。また、当事務所作の「三河港eyeQ（アイキュー）カルタ」を使い、三河湾の環境や港の役割についても、多くの子ども達に楽しみながら学んで頂きました。

当事務所では、引き続き広報活動を通じて、地域の方に港の役割や整備への理解，環境再生事業の必要性等について、情報発信していきます。

『みなとオアシスがまごおり　SEASIDE LIVE2019』が開催されました

10月6日（日）夕方、愛知県蒲郡市の「みなとオアシスがまごおり」にて、「SEASIDE LIVE 2019」が開催されました。このライブイベントは、「みなとオアシスがまごおり」が平成19年4月に中部地方整備局からみなとオアシスとして認定される以前から開催されていて、今回で15回目の歴史あるイベントです。会場へのアクセスが、JR名古屋駅から蒲郡駅まで約40分、蒲郡駅から徒歩５分という「みなとオアシスがまごおり」の立地のよさが活かされています。

当日は約300人の方が来場され、おいしいワインやビールに舌鼓を打ちつつ、しっとりとした歌声の地元出身バンド「SPIRAL（スパイラル）」、アンデスの風を吹かせる４人組ユニット「SOL（ソル）」、蒲郡だけのスペシャルセッションバンド「フュージョンバンドTRIXの熊谷徳明（Drum）とAYAKI（Key）、ユッコ・ミラー（Sax）、中村裕希（Ba）、BOWWOWの山本恭司」の計3組による素敵な音楽と一夜限りの楽しいステージを満喫されていました。海辺の会場は心地よい潮風と素晴らしいジャズが奏でるシンフォニーに加え、海辺の夕日がロマンチックな雰囲気を醸し出していました。

今後も継続的に開催され、「みなとオアシスがまごおり」がより魅力的なスポットとして認知されていくことが期待されています。

稲葉蒲郡市長より挨拶

ライブの様子

会場の様子

海とみなとの相談窓口

全国共通フリーダイヤル
おおいに　よくなれ　みなと
0120-497-370
受付時間※ 9:00～12:00と13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)
※一部の地域を除きます。

国　土　交　通　省
中部地方整備局

三河港湾事務所
〒441-8075　愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
TEL　0532-32-3251　FAX　0532-32-5049

衣浦港事務所
〒475-0831　愛知県半田市11号地2番地
TEL　0569-21-2311　FAX　0569-21-2312

http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/